

事業所名: グループホーム小浜きたの

作成日: 2023 年 3 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の中に「明るく元気で素直」「人々の絆よりどころ」等の表現もある。今後も職員全員で理念の真意を共有し、理念について話す機会を増やすと共に、家族の方々との「絆」も深めていきたいと考えている。	「老いても障害を持っていても当たり前」に普通に明るく暮らしたい」という開設時からの理念を職員全員で共有し、周知する。玄関に設置している「ご意見箱」を活用し、家族の方々からのご意見を参考にケアに取り入れる。接遇等の勉強会を行う。	3 ヶ月
2	(10)	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	①今後もアセスメントに「できる事」「できそうな事」「各活動の要望」「行動障害(原因)」「解決策」等を増やすと共に、看護師からの指示を追記していく予定である。 ②アセスメント内容と介護計画の整合性を再確認し、家族の方々との話し合いをしていく予定である。	ホーム独自の個別ケアの計画表を作成しアセスメントに反映させ、家族の方々と話し合い介護計画を作成する。医療連携看護師等からの指示を介護計画や個人記録に追記する。	3 ヶ月
3	(13)	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	今後も消防団団長、民生委員、自治会長、老人会長、ご近所の住民の方々に災害時の応援体制のアンケートをさせて頂くと共に、厚労省が作成する動画や、雲仙市が作成しているBCP(業務継続計画)を参考に、ホームのBCP作成に繋げていく予定である。	厚労省等の情報や地域の方々の応援体制のアンケートを頂きホームのBCP作成に繋げていく。全職員が身につけ地域との協力体制を築く。	10 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間